



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と  
ひ  
と  
ツムぐ学生

第3号

2017年4月7日

編集 谷地美咲  
(SP大学4年)

2017年4月7日(木)

## じ、時間が…!

最近「立ち位置」について悩みが多い谷地がツムぎます。

今日は小島SP、田中SP、谷地の3人が活動しました。小島SPは、朝8時前から登校したそうです。すぐに1年生の教室へ行き、帰りまでの流れを打ち合わせたそうです。SPとして年度始めの始業式で活動するのは全員初めてのことでした。小島SPの余裕をもった行動を見習いたいですね。

1年2組の担任の先生が今日はお休みだということで、私は小島SPと共に2組に、田中SPは1組に入りました。

1年生が帰りの準備をするまでの時間は、正直に言うと「あっという間」でした。子どもたちには覚えること、することがたくさんあります。提出物を出すこと、健康観察、始業式で「よろしくお願いします」と揃えて言う練習、2列で隣同士手を繋いで並ぶこと、配布物の送り方、あさがお広場では「一の口(口を閉じる)」で入ること等々、時間はどんどん過ぎていきました。

そんな中でも、先生方は子どもたち全員が楽しく話を聞き、行動できるような工夫をしていると感じました。トイレに行った子を待っている間にクイズ形式で片葩小や担任の先生の紹介をしたり、指で数字を表して子どもに言わせて、「1」を言わせた後に「一の口」に結びつけて静かにすることを伝えたりと、短い時間に多くのことを学んだ1日でした。

これからSPが1年生で活動する場面が多くあると思います。全員で情報を共有しながらSPの活動を充実させていきましょう!

### ○ 1年の支援をするときに気を付けようと思ったこと

- ◆ 1指示1行動
- ◆ 簡単な言葉で伝える
- ◆ 「～しない」より「～しよう」で伝える

まだまだあるとは思いますが、私が気を付けたいトップ3を挙げました。1年生の支援に入ったら、どんなことに気を付けたいと思ったかをどんどん発信していきましょう。



イラスト: sozai no puchi-chi より